

3Dマンモグラフィ検査

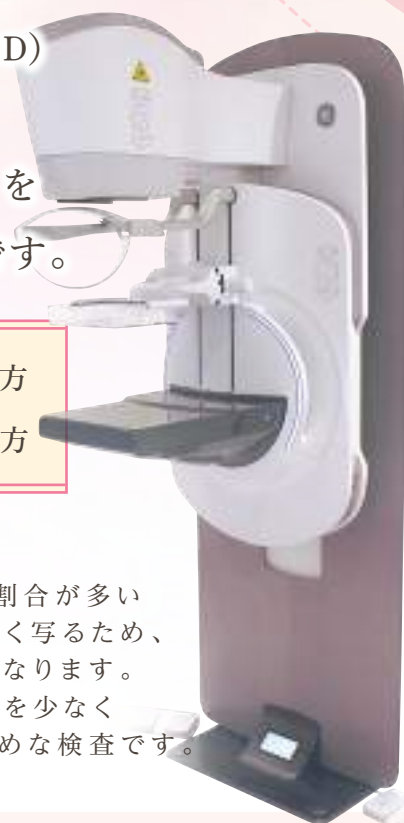
3Dマンモグラフィとは、従来のマンモグラフィ(2D)に加えて角度を変えて**複数の方向から撮影**し、3次的に画像を再構成することで、乳腺の重なりを少なくし、より**病変を見つけやすく**する検査方法です。

このような方に
おすすめ

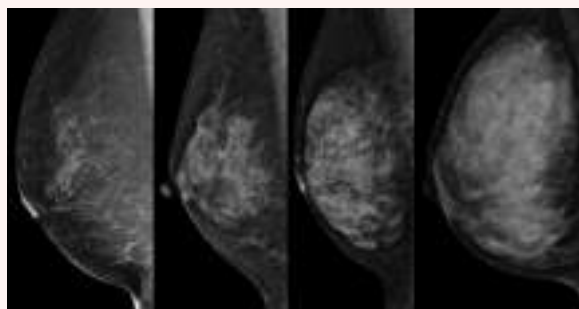
- 若年者の方
- 高濃度乳腺といわれた方
- 2Dマンモグラフィで経過観察となった方

高濃度乳腺とは

乳房は主に乳腺と脂肪で成り立っていますが、高濃度乳腺は乳腺の割合が多いことを指します。マンモグラフィでは乳腺も病変(良性、悪性)も白く写るため、高濃度乳腺の場合は全体的に白く写ってしまい、病変を見つけにくくなります。3Dマンモグラフィでは多方向から撮影することで乳腺同士の重なりを少なく観察できるため、特に若年者に多い高濃度乳腺の方に非常におすすめな検査です。

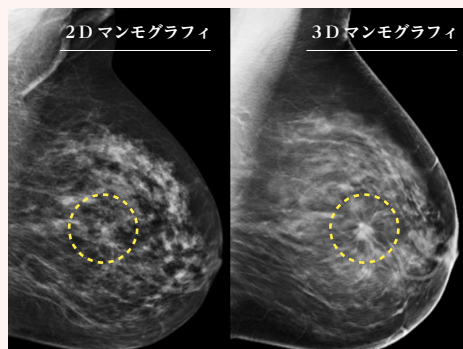


乳房の構成



低い	乳腺濃度	高い
高齢	年齢層	若年
容易	病変の見つけやすさ	困難

2Dと3Dの見え方の違い



2Dマンモグラフィ(左画像)で分かりにくい病変が、3Dマンモグラフィ(右画像)でははっきりと見えます

2D・3D 併せて

検査
料金

8,800 円(税込)

- 当院はマンモグラフィ検診施設・画像認定を取得しています
- 撮影は検診マンモグラフィ撮影認定を取得した女性技師が担当します
- 2Dと同時に3Dも撮影できますので、乳房を挟む回数は増えません